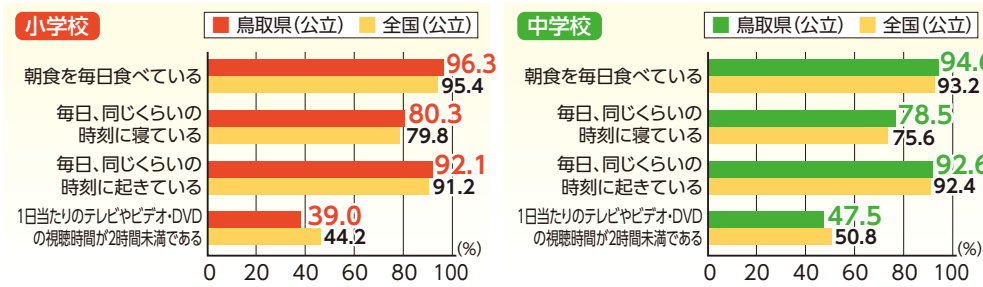


# 児童生徒質問紙調査結果から

\*学力向上と関係が深いとされる項目について取り上げています

## メディア等との接し方を考えましょう

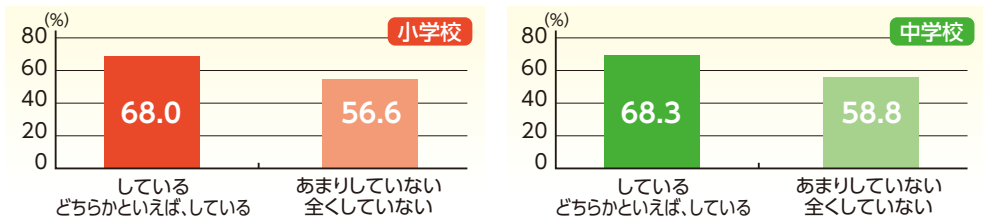
### 基本的な生活習慣について



▶基本的な生活習慣の確立については、全国との比較において、概ね良好な状況であると言えますが、「1日当たりのテレビやビデオ・DVDの視聴時間」については、2時間未満の割合が全国を下回っています。メディアへの接触時間の増加は、外遊びの機会の減少、人とかかわる体験の不足、睡眠不足やコミュニケーション能力の低下につながります。基本的な生活習慣の確立により、子どもたちが学習や学校生活に臨む構えや、社会的自立に向けた基礎をしっかりと形成することが大切です。

## 家庭・地域におけるコミュニケーションを大切にしましょう

質問紙と2教科平均正答率の関係(鳥取県) **家の人と学校での出来事について話をしますか**

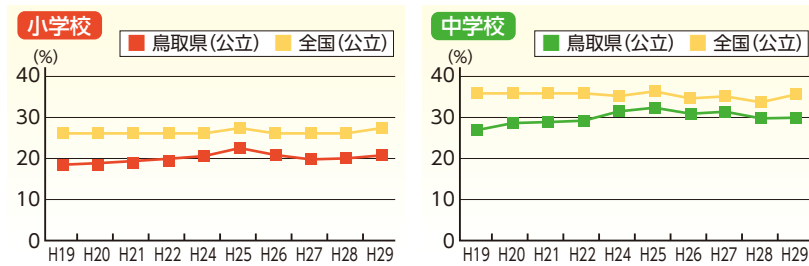


▶「家の人と学校での出来事について話をしている」と回答した児童生徒の方が、教科に関する調査の2教科平均正答率が高いという結果が出ています。家庭における対話や賞賛の営みは、学力向上も含め、児童生徒の成長に大きな影響を与えます。また、地域行事やボランティアへの参加などの体験を通して、そこで役割を果たす充実感を味わったり、社会参加への意識を高めたりすることも、学びに対する意欲を育てる上で、とても大切なことです。

問合せ先 県教育委員会小中学校課 電話 0857(26)7512 FAX 0857(26)8170

## 学校と家庭が連携を図り、望ましい学習習慣を身に付けさせましょう

### 学校の授業時間以外に、普段2時間以上勉強をしている



▶家庭学習については、「家で学校の宿題をする」と回答した本県の児童生徒の割合は高いものの、「学校の授業時間以外に、普段2時間以上勉強をしている」と回答した児童生徒の割合は全国と比較しても低くなっています。今後は、学校と家庭が連携を図り、一定の学習時間の確保と併せて、児童生徒が自ら計画を立て、それを遂行し、振り返るといった、自ら学ぶ態度を育むことが求められます。



今年度の学力調査の中学校国語では、「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと」「比喩などの表現の技法について理解すること」について課題が見られました。「小学校低学年段階から読解力を支える語彙を増やすなど、言語能力の育成を図っていくことが、その後の学習に大きな影響を与える」ということが指摘されています。今回の学力調査の結果でも、図書館の利用頻度の高い児童生徒や新聞を読んでいる児童生徒の方が、2教科平均正答率が高いという結果が出ています。子どもたちを取り巻く情報環境が変化し、SNS等での短文でのやりとりが中心となる中、一定量のまとまりのある文章に接する機会の確保が、これまで以上に重要になってきています。

# 平成29年度 鳥取県体力・運動能力調査の結果

県内全公立小学校・中学校、県立高等学校(全日制)の全児童生徒(小1～高3の計12学年)を対象に実施された調査の結果をお伝えします。

## 実技調査 ① 体力合計点比較

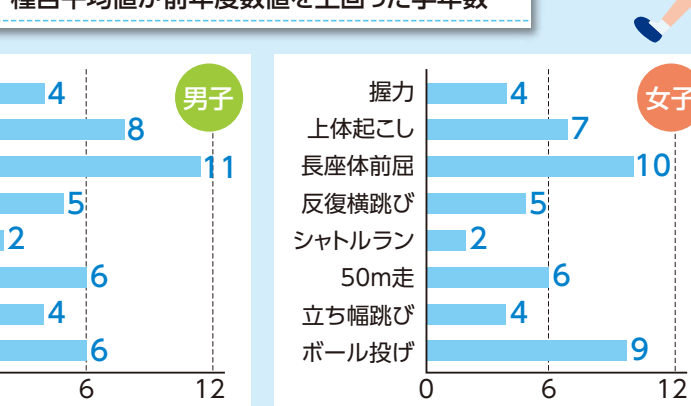
性別	学年	H28	H29
男子	小1	30.85	30.79
	小2	37.96	37.92
	小3	43.70	44.10
	小4	49.65	49.11
	小5	54.08	54.87
	小6	59.61	59.66
男子	中1	33.12	33.63
	中2	42.40	42.09
	中3	49.03	49.52
高1	52.68	52.26	
	高2	56.30	56.20
	高3	59.42	58.05
女子	小1	30.74	30.95
	小2	38.10	38.04
	小3	44.66	44.74
	小4	50.36	50.49
	小5	55.85	56.18
	小6	60.86	60.81
女子	中1	44.44	44.69
	中2	50.07	49.90
	中3	52.74	52.62
高1	52.05	52.38	
	高2	53.70	53.86
	高3	55.62	54.28

平成28年度と29年度の体力合計点(実技8種目の合計点)平均点を比較すると、小学校1年生から高校3年生までの男女それぞれ12学年(計24学年)のうち、男子5学年、女子7学年の計12学年が昨年度を上回りました。

## まとめ 子どもたちの体力向上に向けて

運動習慣が多い児童生徒ほど体力合計点が高く、運動習慣が少ない児童生徒との差は、学年が上がるにつれて広がる傾向が見られます。運動に親しむ習慣が身についてくる幼児期から児童期にかけて、遊びを通して楽しく体を動かすことによって基本的な動きを身に付けさせたり、体を動かす時間を確保し多様な動きを経験させたりするなど、子どもの力に応じて大人が工夫

## 実技調査 ② 種目平均値前年度比較



上体起こし、長座体前屈、50m走、ボール投げにおいて、半数以上の学年で昨年度の数値を上回っています。特に長座体前屈においては、昨年度の数値を上回る学年が多く、回復の傾向が見られます。

して関わってあげることが大切です。※遊びやスポーツでしっかり体を動かすことも大切ですが、日常生活でのちょっとした時間をうまく活用することで柔軟性や動きの巧みさなどの運動能力を高めることができます。例…お風呂上りに親子でストレッチ タオルを絞る 布団を敷いたときにでんぐり返し こぼさないように食事を運ぶ 背筋を伸ばした姿勢を意識する など

問合せ先 県教育委員会体育保健課 電話 0857(26)7522 FAX 0857(26)7542

# 小学校の外国語(英語)教育が変わります

### なぜ変わる?

小学校では、現在、5年生から年間35時間(週1コマ)の「外国語活動」が行われていますが、グローバル化の急速な進展に伴い、外国語によるコミュニケーション能力のより一層の向上が求められることから、今後、3年生から「外国語活動」が導入され、5年生からは「外国語」として教科化されます。

### いつから変わる?

全面実施は平成32年度からですが、移行期間となる来年度から部分実施が義務づけられ、希望する市町村や学校は、先行して全面実施することも可能となります。

### 5～6年生はどう変わる?

5～6年生で教科化される「外国語」では、これまでの「聞くこと」、「話すこと」を中心とした学習に加えて、語句や文レベルでの「読むこと」、「書くこと」に慣れ親しむ活動が導入されます。

### 中学・高校へどうつながる?

小学校での英語教育の早期化、教科化は、中学・高校では「英語で行う授業」へと引き継がれ、英語の4技能(聞く、話す、読む、書く)を使いこなす力が付いたかどうか、これからの大学入試では問われるようになります。

### 県教育委員会の支援は?

県教育委員会では、新しい小学校外国語教育への移行が円滑に進むよう、小学校教員の指導力向上研修や新教材等に関する情報提供を計画的に行っています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控えて、グローバル人材育成の機運が高まる昨今、外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする資質や能力を備えた子ども達の育成を目指しています。

## 平成30年度からの小学校外国語(英語)教育

実施学年	3・4年生	5・6年生
教科名等	外国語活動(英語)	外国語(英語)
実施時数	年間15～35時間 (平成32年度からは35時間)	年間50～70時間 (平成32年度からは70時間)
指導者	主に学級担任を中心として、ALT(外国語指導助手)や外国語活動支援員を活用したり、校区の中学校英語教員と連携したりしながら指導	

問合せ先 県教育委員会高等学校課 英語教育推進室 電話 0857(26)7959 FAX 0857(26)0408

# スポーツで地域とつながる、みんなとつながる 「鳥取発! スポーツでつながる共生社会充実事業」

平成28年度より障がいのあるなしにかかわらず、共にスポーツを楽しむことを目的として「鳥取発!スポーツでつながる共生社会充実事業」を実施しています。

県内3つの特別支援学校の体育館等を会場として、地域のスポーツクラブ等が主催して、在校生のみならず、卒業生、保護者そして地域の方と一緒にスポーツなどを楽しんでいます。

どの会場も、和気あいあいとして、誰もが自然と笑顔になる、とても参加しやすい雰囲気になっています。

### 今後の予定

会場	日にち	時間	活動内容
倉吉養護学校	12月9日(土)	午前9時～午前11時	ヒップホップダンス
	1月13日(土)		ヒップホップダンス
	2月10日(土)		健康太極拳
皆生養護学校	12月	午前9時30分～午前11時30分	パラアスリートを招いての交流
	※日には調整中		ポッチャ
	1月27日(土) 2月23日(金)		ポッチャ
米子養護学校	月1回程度	午前10時～午前11時30分	ボールを使った運動等

問合せ先 県教育委員会特別支援教育課 電話 0857(26)7575 FAX 0857(26)8101

# 本でつながわたしたちの未来プロジェクト2017 中学生ポップコンテスト 優秀作品決定!

鳥取県教育委員会では、中学生に読書の楽しさや大切さを感じてもらうことを目的として中学生ポップコンテストを実施し、このほど優秀作品が決定しました。今年で4回目の実施となったこのコンテストには、1,170点もの応募をいただきました。たくさんのご応募、ありがとうございます。※優秀作品は県内の書店での展示を予定しています。

募集時期 平成29年 8月～9月 応募作品数 1,170点

### 自由図書枠! 優秀作品(9作品)

水野創太さん 鳥取市立東山中学校1年 『嫌われる勇気』	柿田愛実さん 米子市立東山中学校2年 『吹奏楽部がある』
波多野咲希さん 米子市立東山中学校2年 『5分後に思わず涙。』	池淵ゆららさん 米子市立福米中学校3年 『時をかける少女』
須山歩希さん 米子市立尚徳中学校1年 『ふたり』	島谷莉帆さん 米子市立加茂中学校3年 『ずっとずっと大好きだよ』
松岡風香さん 米子市立加茂中学校3年 『ちょっとだけ』	松尾らいむさん 米子市立加茂中学校3年 『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』
大谷芽衣さん 大山町立大山中学校2年 『笑う招き猫』	

### 推薦図書枠! 優秀作品(10作品)

木村麗乃さん 鳥取市立西中学校3年 『はてしない物語』	西山友葉さん 米子市立加茂中学校3年 『はてしない物語』
田中かれんさん 琴浦町立赤碕中学校3年 『世界地図の下書き』	萱野綾香さん 米子市立加茂中学校2年 『世界地図の下書き』
米村向日葵さん 琴浦町立赤碕中学校3年 『トムは真夜中の庭で』	藤井希さん 鳥取市立西中学校2年 『竜馬がゆく』
鐘築玲さん 米子市立東山中学校3年 『竜馬がゆく』	嶋田光紗さん 鳥取市立西中学校2年 『舟を編む』
山本咲菜子さん 米子市立美保中学校3年 『舟を編む』	
陶山和泉さん 境港市立第一中学校3年 『舟を編む』	

### 推薦者と推薦本

奈都子さん(シンガポールライター)	『はてしない物語』 ミシェル・エンデ 著
『世界地図の下書き』 朝井リョウ 著	
『トムは真夜中の庭で』 フィリップ・ピアス 著	
上野永輔さん(情報誌「さいいん」キラー編集者)	『竜馬がゆく』 司馬遼太郎 著
『舟を編む』 三浦しん 著	

問合せ先 県教育委員会社会教育課 電話 0857(26)7943 FAX 0857(26)8175